

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事: 柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2016 August 10

■ 2016～2017年度方針

ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.6

例会報告

●第2139回例会 平成28年8月10日(水) 晴

●8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 103 名中 出席60名
(91)

出席率65.93% 修正出席率85.87%
(7月27日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

徳川美術館 学芸員 原 史彦さん

●ニコボックス

「原先生、本日の卓話楽しみにしています。」

横井辰幸君

「この度、本社社屋が完成しました。先日身内を中心に式典をして本日が引越をしている最中です。和合RCからもお祝い戴きましてありがとうございます。天野倅明さん、安井隆豊さんに大変お世話になりました。」

加治佐健二君

「16日からオリンピックに行つて来ます。トライアスロン競技は男子は18日、女子は20日です。NHKTVでライブ中継します。応援よろしくお願ひします。」

國分孝雄君

「麻雀会稲川副会長杯開幕戦8月3日無心の麻雀をする事が出来、大勝利となりました。皆様(Iさん、Nさん、Tさん、Mさん)の支援を頂きありがとうございます。次回もよろしくお願ひします。」

横井辰幸君

「昨夜は亀谷さんに大変お世話になりました。参加者一同、大満足で楽しく過ごせました。」 榎野智之君

本日のニコボックス 5件 21,000円

累計 26件 229,000円

柏木博喜幹事報告

▽当クラブ行事予定

・8月17日(水) 規定休日のため、休会です。
(例会はございません)

・8月31日(水) 例会終了後、理事会を開催致します。
※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・9月14日(水) ガバナー補佐訪問日です。例会終了後、ガバナー補佐を交えてクラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長、新入会員のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

※本日の配布物

○クラブアッセンブリーのご案内。

○ワールドフード・ふれ愛フェスタのチケットのご案内。

○敬老祝いのご案内。

高木一平会長挨拶

“日本人とフェアプレー”

我が国で最近人気のスポーツと言えばサッカーでしょうか。この一二年はラグビー人気も急上昇中です。私はサッカー観戦が大好きですが、見ていて不愉快なのはラフプレーとシミュレーションです。ラフプレーは足を引っかけて倒したり、ユニフォームを引っ張ったり大変見苦しい行為です。私が特に許せないのはシミュレーションで、何もされていないのにやられたかのように振るまい、わざと倒れてペナルティキックを貰う行為です。これが本当にスポーツマンのやることかと強い憤りを感じます。しかし世界的にはこれもある程度許された戦術なのです。勝つことだけが至上命題と言う価値観です。幸い日本人選手はこの行為をあまりしていません。

さて今、にわか人気のラグビーにはかなり厳正なフェアプレーの精神が流れている気がします。ラグビーは競技そのものがラフプレーに近く、それ故に多くの制約をルールに取り入れることで、窮屈ながらも紳士的なスポーツにしようとしています。No sideやOne for all, all for oneの精神もとても共感できるものです。まさにロータリーの「四つのテスト」にも共通する価値観です。

サッカーもラグビーもイギリス発祥であり、ラグビーがサッカーから派生したことは有名です。しかしサッカーが主に当時の下層階級の憂さ晴らしだったのに対し、ラグビーがパブリックスクールの生徒が始めた上流階級のたしなみだったことは興味深いことです。かの地の上流階層には騎士道とノーブレスオブリージュがあり、日本には武士道がありました。武士道とは決して卑怯な真似をしないことです。ラグビーの精神は日本の武士道に極めて親和性が高いといえます。

武士道に憧れる私はどんな分野においても、日本人だけは「清く正しく」、卑怯な行為をしてほしくないと思います。接戦の中で、もしも卑怯に振る舞えば勝てる局面があり、それをしないが故に勝利を逸した場合、その敗北は誠に誇り高い、値千金の敗北だと思いたいのです。

卓 話

名古屋城築城物語

徳川美術館 学芸員 原 史 彦



近年、天守の木造復元について名古屋市長が積極的に推進しています。

現在の鉄筋コンクリートではなく、往時の姿に復元することに関して異論はありませんが、現在の復元天守の存在意義も忘れてはいけません。

名古屋城は天守は、江戸時代、徳川将軍家の居城である江戸城天守、徳川家によって再建された大坂城天守、家康の隠居城である駿府城天守に次ぐ規模を持つ天守で、いずれの天守も江戸時代初期に焼失して以降、国内随一の規模を誇り、金鯱をいただく唯一の天守として昭和20年まで威容を誇っていました。

戦後に流行する復元天守の中でも最大の規模であり、二度と焼けない天守をとの願いで鉄筋コンクリート造りとなり、費用の多くを市民の寄附によって賄われた貴重な歴史遺産です。

また当時の最新の技術を使って、文化財である石垣に直接の負荷が掛からないように設計されており、近代建築として極めて優れ、近代建築として重要文化財になり得る建造物です。

エレベーターがあることもまた、誰でも入城できるという利点も忘れてはならず、詳細な石垣調査なども含め、様々な角度で議論する必要があります。

復元という視点に立てば、かつての本丸の景観、すなわち多聞櫓が取り囲んでいた景観を復元することも本来ならば視野に入れる必要があります。

濃尾震災以降に撤去されましたが、かつては本丸を多聞櫓が取り囲み、死角の無い鉄壁の防禦性誇っていました。

姫路城に比べ観光地としては魅力に欠くのは、構造が単純で迷路性に乏しいことにあります。

しかし、それは名古屋城が極めて合理的に設計され、少人数で大多数の敵を迎え撃てる構造ゆえであり、名古屋城はいわば城郭建築の到達点にある城なのです。

戦前までほぼ完全な形で本丸が遺されていたことも、名古屋城の大きな魅力の一つであり、尾張徳川家が威信をかけて維持に努めた結果の現れです。

すなわち、東海道・中山道沿線の譜代大名の城は、その全ての城主が徳川将軍であり、各大名はあくまでも城を預かる城代に過ぎません。

名古屋城もまた本丸は将軍専用空間で、本丸御殿は3代将軍家光と14代将軍家茂がそれぞれ1回使用しただけです。

つまりその間の200年間は空き家だったわけですが、尾張徳川家がいつ将軍が来ても良いように絶えず保守管理した結果、明治維新以降に名古屋離宮として保存され、昭和に至る迄かつての威容を伝えることができました。

藩主は二之丸御殿に居住し、藩士はもちろん、藩主もめったに本丸・天守に入りませんでした。こういった極めて特殊な管理を経て空襲で焼失するまで存続した天守や御殿群を、今後往時の姿に戻していくことは大事なことだと思います。

名古屋城は間違いなく、江戸時代から現代に至るまで名古屋市民の誇りとして大切な存在であったわけで、これからの活用も含めて、もっと名古屋城の魅力を知って戴ければ、より身近な存在として親しまれる存在になるのではないのでしょうか。

例会	月日	今後の予定
第2140回	8.24	名古屋大学 PhDプロフェッショナル 登龍門 推進室特任教授 足立 守氏 「自然に学ぶ」
第2141回	8.31	近畿大学 医学部 名誉教授 松尾 理氏
第2142回	9.7	RI第2760地区国際奉仕委員会委員 平野 恒弘氏 「私のミャンマー支援」
第2143回	9.14	柴田 幸男東名古屋分区 ガバナー補佐訪問日

○このウィクリーは再生紙を使用しております。